



市内の聖火リレーの様子

■2月臨時会・3月定例会

令和3年度予算	P2
令和3年度各会計当初予算比較表	P3
質疑・一般質問(12人)	P3~P9
議決結果	P10
賛否表、同意案	P11

■政務活動費収支報告、発議案、6月定例会開催予定等

P12



©稲沢市 いなっピー

3月定例会開催

3月定例会は3月8日から25日までの18日間の会期で行われました。

市長から条例関係議案11件、法定議決議案1件、予算関係議案13件が提出されました。

提出された議案については、17・18・22日に開催した総務・文教厚生・経済建設の各常任委員会において審査しました。

また、12人の議員が市政全般に対する質疑・一般質問を11・12・15日の3日間で行いました。

(主な質問及び答弁は3～9ページに掲載しています。)

最終日の採決の結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

(議決結果は10ページ、賛否表は11ページに掲載しています。)

令和3年度の主な新規(拡充)事業

総合体育館改修事業

4億8,000万円

総合体育館のアリーナ天井落下防止、ガラス飛散防止、照明LED化等の改修及び空調設備の整備工事を実施する。

ICT支援員配置事業(小・中学校)

3,660万円

タブレット型PCの有効活用のため、ICT支援員を配置し、教職員研修、授業支援、機器利用支援等を実施する。

地域生活支援事業

8,204万円

○成年後見センターの開設

認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力が不十分なかたへの支援を行う。

○地域生活支援拠点事業の開始

地域における障がい者相談支援の中核的役割を担う障害者基幹相談支援センターに、障がい者の緊急時対応の機能を持つ地域生活支援拠点事業を開始する。

小規模事業者活性化補助

3,000万円

コロナ禍で打撃を受けた小規模事業者への継続的支援として、売上・利益改善の取り組みや感染症予防対策に対し補助金を交付する。

祖父江ぎんなんパーク運営管理事業

1,843万円

「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド力の強化・確立を図るため、祖父江ぎんなんパークの運営管理を包括的に委託する。

稲沢おでかけタクシー事業

2,480万円

高齢者・障がい者などの交通弱者への外出支援事業の本格運行を実施する。

スマホ決済導入事業

59万円

納税者が安心・安全に市税・料金の納付ができるようスマートフォンアプリ(LINE Pay, PayPay, PayB)による納付サービスを導入する。

公共施設等総合管理計画改訂業務委託事業

700万円

中長期的な観点での公共施設マネジメント推進のため、公共施設等総合管理計画の見直しを行う。

※万円未満切り捨て

稲沢市議会だより

令和3年度各会計当初予算比較表

会計名		区分	本年度予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	比較 (千円)	前年比 (%)
一 般 会 計			45,160,000	51,730,000	△ 6,570,000	87.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		12,235,000	12,268,000	△ 33,000	99.7
	介 護 保 険		9,875,000	9,373,000	502,000	105.4
	後 期 高 齢 者 医 療		3,723,000	3,591,000	132,000	103.7
	稲沢西土地区画整理事業		386,300	547,900	△ 161,600	70.5
	小 計		26,219,300	25,779,900	439,400	101.7
企 業 会 計	病 院 事 業		8,183,728	8,244,390	△ 60,662	99.3
	水 道 事 業		4,895,235	4,598,987	296,248	106.4
	公 共 下 水 道 事 業		4,213,586	4,632,395	△ 418,809	91.0
	集 落 排 水 事 業		409,712	444,983	△ 35,271	92.1
	小 計		17,702,261	17,920,755	△ 218,494	98.8
合 計			89,081,561	95,430,655	△ 6,349,094	93.3

Q&A 議員の質問
市の答弁

質疑・一般質問 Q&A

新型コロナウイルス感染症に 対する中小企業支援について



朽本敏子議員



を支給する飲食店支援金。

Q 新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けた中小企業、小規模事業者に対して、令和2年度で行った支援は。

A 大きく5つの事業を行った。1つ目は、中小企業を対象に融資の初期コストを支援する信用保証料の補助。2つ目は、昨年4月10日の愛知県緊急事態宣言を受けて支給した新型コロナウイルス感染症対策協力金。3つ目は、感染症拡大の影響を受けた小規模事業者を支援する小規模事業者活性化補助金。4つ目は、消費喚起のための飲食・商店工一券の発行事業。5つ目は、国の外出自粛の呼びかけの影響を受けた昼間営業の飲食店、喫茶店に対する1店舗当たり10万円

Q 緊急事態宣言が解除になりワクチン接種が始まってもすぐに売り上げは戻りにくく、中小企業、小規模事業者への支援は必要だが、市としての来年度の支援は。

A 小規模事業者の活性化補助のため、本年度同様「いなざわ事業者げんき補助金」を当初予算で計上した。従業員20人以下で市内の小規模事業者を対象に、売上・利益の改善、感染予防の新たな取り組みに対し、引き続き支援をしていく。



飲食・商店工一券

稲沢市議会だより

商業発展に向けた
取り組みについて



吉川隆之議員



Q 人が集まる地域には、評判となる食事場所やお土産がある。人を繋ぐ名産、特産品をつくれぬか。

A 稲沢商工会議所で、祖父江町商工会、平和町商工会、稲沢市観光協会と連携し、稲沢特産品認定委員会が組織され、43点を「稲沢の特産品」として認定している。これらの商品は、祭りやイベント、特産品販売の機会にPRしており、今後も銀杏を始め、市の特産物を使った商品や市をPRできる商品の開発について相談があれば、積極的に開発やその後の販売拡大を支援していく。

Q 販売場所は、市内には沢山あり、近隣で成功している軽トラ市等もできると思う。商品開発でも愛知文教女子

短期大学、名古屋文理大学等とアイデアを出し合い、良い取り組みを作れないか。

A スーパーマーケットとの連携や、公的なスペースを活用した軽トラ市を開催することは、特産品の販売拡大の有効手段と考えるので、令和3年度にオープンする「祖父江ぎんなんパーク」を活用するよう調整していく。また、特産品開発には、文教短大、文理大学の協力を得ており、この他、市内企業が地域素材を生かし、開発した食品もある。企業、学校と連携して積極的に特産品の紹介を行うしていく。



祖父江ぎんなんパークの完成イメージ

稲沢市民病院と稲沢厚生病院の
再編・統合について



曾我部博隆議員



Q 新型コロナウイルスの流行で医療機関のひっ迫・崩壊が問題になっている。今後発生する感染症のために医療機関に余裕が必要で、市民病院と稲沢厚生病院の「再編・統合」に抗議・撤回を求めるべきではないか。

A 国は、地域医療構想を実現するために、再検証要請対象医療機関を選定している。「再編・統合」の文言が過剰に強調された結果、選定された病院では、住民から「病院がなくなるのではないか」また、医師、看護師などが将来を不安視して採用辞退するなど、職員採用などにも影響があったと聞いている。

昨年3月からの新型コロナウイルス感染症で、市民病院はたくさん患者を受け

入れ、改めて公立・公的病院の重要性が見直されたと考ええる。

病院の健全な経営は大使命ではあるが、医療機関の診療実績という一面だけを見て、その存在に影響を与えかねない選定方法、公表のやり方には、不満を感じており、異を唱えていきたい。再検証要請対象医療機関として選定されたことは真摯に受け止め、当院の担う役割を見極めていく必要があると考えている。



新型コロナウイルスワクチン接種模擬訓練

水道ビジョンに基づく安全安心な
「おいしい水」の供給実現について



岡野次男議員



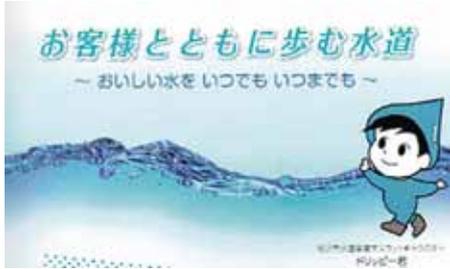
Q 過去、水道工事に起因する濁り水が発生したが、原因が特定されており、一過性であるため、問題を軽視していたように思う。家庭内に濁り水が浸入すると、給湯器等に汚れが付着し、濁り水の発生が長期に及ぶ恐れがある。水道を出し続けたいれば、いずれきれいになるという考えでは、市民の皆様の不安を払拭できない。水道工事における水質意識の一層の強化を求め、市の考えは。

A 工事の最終段階にあたる既設管との切り替え作業等で周辺の既設管路からの濁り水を引き込んでしまうことがあった。既設管への切り替え作業においてバルブ等の、より慎重な操作や新しい管に流れる水に濁りがないこと、消毒効果の確認を

徹底し、濁り水が発生しないよう努める。

Q 今年度の水道に関する相談件数は、24件で水道工事に起因する相談は含まれていない。水道工事によって発生した濁り水の相談件数も把握し、対応を記録して、水道技術の向上に繋げるべきではないか。

A 個々の工事に起因する濁り水等の問合せについてはその都度対応しているが、記録していないため、今後は対応記録を作成し、職員間で情報共有していく。



稲沢市の地球温暖化
対策について



服部礼美香議員



Q 稲沢市地球温暖化対策実行計画の中で平成28年度から令和4年度の二酸化炭素排出量20%削減を目指すところが、現在の取り組みは。

A 平成28年度から令和元年度で温室効果ガス排出量が増加しており、目標達成は省エネ行動だけでは困難な状況である。公共施設の照明をLED化する等、具体的な対応が必要と考える。

は、2050年度までの長期目標を盛り込んでいく。

Q 全国の自治体で続々と「2050年ゼロカーボン宣言」が広がっている。稲沢市もゼロカーボンシティを表明し、脱炭素社会に向けて積極的に施策を進めるべきだと思うが、市長の考えは。

A 脱炭素社会の実現に向けて研究し、必要な施策を精査する。現状、市の温室効果ガスの排出は増加しているため、出来るだけ早期に宣言をし、市民や事業者の理解を得て市全体で地球温暖化対策を進めていきたい。



A 次期計画では、市のみならず、市民や事業者を含めた市内全体の温室効果ガス削減を目標とする区域施策編を策定する予定。また、第3次稲沢市環境基本計画で

高齢者外出支援 サービスについて



平床健一議員



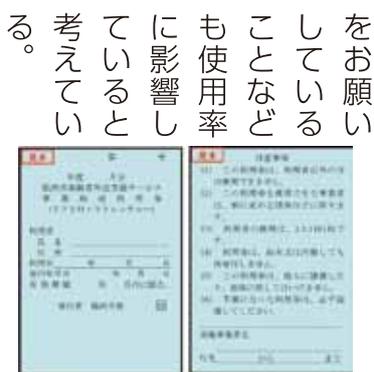
Q 高齢者外出支援サービスは、車いすやストレッチャーに対応できる介護タクシーなどの移送用車両の利用を、1か月に2回、(1回は片道分とする) 支援されているが、対象者、申請者、及び利用率は。

A 令和元年度末で対象者は、1105人で、その内、令和元年度中に申請された方は、456人となっている。また、申請者に配付した利用券の総数は、9052枚で、その内使用された利用券は、1989枚で約2割の使用率となっている。

Q 同じ月に診察が複数回必要となりやすい外科、皮膚科、歯科など短期集中的な受診の場合、利用券の2回分は助かるが、残りの分は自己負担で普通のタクシーと違

A このサービスは、事前に年度分の利用券を交付する形となっており、使用するから分らないが、急に必要になる時のため申請だけをする方もいる。

また、利用券の使用条件として月に2回までとするのとや通院に利用範囲が限られていること、利用時には介護者や保護者の付き添いをお願いしていることなども使用率に影響していると考えている。



高齢者外出支援サービス 事業助成利用券

稲沢市の防災への取り組みについて



平野賀洋子議員



Q 災害でライフラインが途絶えても授乳可能な液体ミルクを、ローリングストックの手法を活用して保育所で備蓄してはどうか。

A 保育園に在園する乳児は、離乳食期の0歳児が多く、保育園でのミルクの需要は低い状況で、ローリングストックは難しいと考える。

ためには、計画の段階から女性が関わる必要がある。防災会議委員の女性の割合について、国が定める目標の30%をすでにクリアしている鈴鹿市などのように、女性を増やす努力をすべきではないか。

しかし、災害時にお湯が使えない等の状況が発生することも想定されるので、災害時に保育園に留め置かれる乳児のために、今後は、乳児が在籍する園に数本ずつでも備蓄するよう努める。また、保護者に対しては、災害時に役立つ液体ミルクがあることを、機会を見つけて周知していく。

Q 災害時に、女性のニーズに
応えられる体制にしてい

A 地域の防災力向上のためには、様々な意思決定過程に女性の参画を推進し、意見を反映できるようにしなければならぬと考えている。今後、指定団体などに女性委員の選出を積極的にお願しいし、また他市町の手法や状況等も参考にしながら女性委員を増やしていきたい。



ACCP(アドバンス・ケア・プランニング)について



志智 中央議員



Q ACCPとは、自分はそのよ

うな治療を受けたいのか、事前に医療従事者や家族と話し合い、あらかじめ方針や価値観を共有するプロセスを指す。命の危険が迫るとき、約7割がこれからの医療やケアなどについて自分で決めたり、人に伝えたりすることが出来なくなるといわれている。

A

2019年にACCP外来、2020年にがん相談支援センターを開設し、がん性疼痛認定看護師が対応している。また、ケアマネジャーへの講習や健康フェスタなどで相談に応じている。質問用紙は、ホームページ

2019年にACCP外来、2020年にがん相談支援センターを開設し、がん性疼痛認定看護師が対応している。また、ケアマネジャーへの講習や健康フェスタなどで相談に応じている。質問用紙は、ホームページ

掲載や院内配付をしているが、今後は他部署等と協働し、市全体で取り組んでいきたい。

Q 本人の意向を聞き取るだけでなく、医療、介護従事者に情報共有及び理解を広げるため、「なおいネット」にACCP機能を追加できないか。

A ACCP機能の追加には、現場で実践する医師、看護師、介護従事者等が操作に習熟し、共通認識を持つ必要があるが、コロナ禍のため研修会が実施できていない。先行している他市の取り組みを参考に、医師会等に情報提供していただきたい。

先行している他市の取り組みを参考に、医師会等に情報提供していただきたい。



稲沢市民病院の
がん相談支援センターは
ACPIに取り組んでいます

「女性が輝くまち」について



富田和音議員



Q 市役所における一般行政職の女性管理職の人数と比率は。

一般行政職における課長以上の女性管理職は、8人で、その割合は、11.0%となっている。

Q 女性は男性より、家庭や地域活動での役割が多いことで管理職を回避せざるを得ないという事情が存在しているのではないか。勤務状況の改善や過度な重圧を与えない管理職の働き方改革を考慮した、女性管理職登用に向けての取り組みは。

採用する女性職員の割合を増やすこと、課長職の前段階の職への女性登用を増やすこと、仕事と家事の両立を支援して、女性職員が継続して働き続けられる環境を作ること、女性職員の意

採用する女性職員の割合を増やすこと、課長職の前段階の職への女性登用を増やすこと、仕事と家事の両立を支援して、女性職員が継続して働き続けられる環境を作ること、女性職員の意

識改革や能力開発のための環境を整えることに取り組む、女性管理職の増加につなげたい。

Q 本市では「男女共同参画」という用語の認知度が39%、「ジェンダー」は27%と、全国平均に比べ非常に低い。市民意識向上への対応策はあるか。

子どもたちからの教育が有効であると考えているので、教育委員会と連携し、男女平等や男女共同参画についての啓発や理解促進に努めたい。



認定こども園について



服部 猛議員



Q 来年4月に開園する認定こども園の事業者はどこか、また園の名称はどうか。

A 認定こども園の運営事業者として、学校法人藤浪学園が選考され、名称は「へいわこども園」に決定した。

Q 認定こども園への円滑な移行について、市ではどのような準備をしているのか。

A 令和3年度において、各園の園児が交流する「合同保育事業」と藤浪学園から保育士の派遣をさせていただき、「引継保育事業」を実施する予定である。園児や保護者が藤浪学園の保育士に馴染むことで、抵抗感なく、新しい園に移行できるようにと考えている。

Q 園周辺の交通安全の対策についてはどうか。

A 今後、地元要望を受けて担当部署で対応していく。また、送迎ルートを指定する等、事故防止へ対応するよう要請していく。

Q 六輪・三宅児童クラブは保育園解体後どうするのか。

A 六輪・三宅保育園解体後の放課後児童クラブ登録者数の推移と、小学校教室の利用状況を踏まえ、小学校内または、保育園跡地に移転設置するかを検討し、適正な放課後児童クラブの実施に努める。



行政のデジタル化推進に伴う事務の合理化について



加藤孝秋議員



Q 脱ハンコに向けた取り組みはどのような状況か。

A 市民等の行政手続の負担軽減及び利便性の向上を図るため、市民等から申請・届出される手続を優先して見直す。令和3年4月から、約1400の手続きで押印を廃止する。

会計業務や人事業務などの内部事務における押印廃止の時期は、システムの更新時期を見据え、情報推進課をはじめとした関係課と調整した上で、順次廃止ができるよう検討する。

Q 内部手続きにおける押印廃止の一つの手段として、電子決裁の導入は有効であると考えますが、本市の取り組み状況は。

A 電子決裁への移行は、業務の効率化と、より厳格な公

文書管理を可能にする。添付する書類の電子化や、例規等の見直しを検討し、令和3年度にサーバーの更新を行い、電子決裁が可能となる環境整備を進めていく。

Q 押印廃止となることで人件費や紙の削減など、想定する具体的な効果は。

A 紙の削減が期待できること、紙媒体の保存文書が減少することにより、書庫不足が解消すること、出先機関においては決裁文書を本庁等に持ち運ぶ必要が無くなるなど、生産性の向上につながるという効果がある。



「子どもたちの瞳を未来につなぐため」について



星野俊次議員



Q 2019年度学校統計調査

で子どもの視力が1・0未満の割合は、全国平均で小学生34・57%、中学生57・47%で過去最も多い。2020年度の本市の現状はどうか。

A 小学生38・6%、中学生

62・8%で、全国平均を上回り過去最も多い。

Q 全国平均を上回る現状は心配である。学校医とも相談しながら、目の負担を減らす大切さを授業に取り入れ、子どもたちや保護者に啓発する必要があると考えるがその見解は。

A タブレット等を見る時間が増加し、目を酷使する状況は加速していくと思われる。学校では子どもへの指導だけでなく、保健委員会や眼科検診など、学校医や眼科

医から助言をいただく機会があるので、指導内容について保健だより等で保護者に周知し、視力低下の防止のため情報共有に努めたい。

Q 機械の画面を見つめ近視や斜視などの屈折異常を見つけるフォトスクリーナーを用いた検査がある。屈折異常は早期発見・早期治療の効果が大きいのと言われる。三歳児健診時に導入について考えはあるか。

A 各自自治体で導入が進んでおり、弱視・斜視に有効とされているが、小さな斜視や間欠性斜視は調べられない。これらを踏まえ市医師会と制度・運用面の協議をした上、導入について検討する。

A 各自自治体で導入が進んでおり、弱視・斜視に有効とされているが、小さな斜視や間欠性斜視は調べられない。これらを踏まえ市医師会と制度・運用面の協議をした上、導入について検討する。



会議録をご覧ください。

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、市立図書館や各地区市民センターの図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

この議会だよりに掲載している令和3年3月定例会の一般質問等の会議録は、5月下旬に配布できる予定です。

本会議録画映像はホームページやQRコードを読み取りご覧いただけます。

本会議録画映像、会議録は市のホームページからもご覧いただけるようになっていきます。

また、スマートフォン等でも視聴できます。

本会議録画映像については、QRコードを読み取り、ご覧いただくこともできます。

稲沢市議会ホームページ
トップページ



議会会議録検索をクリック



本会議録画映像をクリック
もしくは
上のQRコードを読み取り
ください



2 月 臨 時 会 ・ 3 月 定 例 会 議 決 結 果

議案番号	件 名	議決結果	
議案第 1号	令和2年度稲沢市一般会計補正予算（第7号）	全員賛成	可決
議案第 2号	稲沢市成年後見連携協議会条例の制定について	全員賛成	可決
議案第 3号	稲沢市特定教育・保育施設等重大事故検証委員会条例の制定について	全員賛成	可決
議案第 4号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 5号	稲沢市報酬額及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 6号	稲沢市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 7号	稲沢市介護保険条例の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 8号	稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 9号	稲沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 10号	稲沢市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 11号	稲沢市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 12号	稲沢市火災予防条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 13号	稲沢市道路線の廃止について	全員賛成	可決
議案第 14号	令和3年度稲沢市一般会計予算	賛成多数	可決
議案第 15号	令和3年度稲沢市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	可決
議案第 16号	令和3年度稲沢市介護保険特別会計予算	賛成多数	可決
議案第 17号	令和3年度稲沢市後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成	可決
議案第 18号	令和3年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計予算	全員賛成	可決
議案第 19号	令和3年度稲沢市病院事業会計予算	全員賛成	可決
議案第 20号	令和3年度稲沢市水道事業会計予算	全員賛成	可決
議案第 21号	令和3年度稲沢市公共下水道事業会計予算	全員賛成	可決
議案第 22号	令和3年度稲沢市集落排水事業会計予算	全員賛成	可決
議案第 23号	令和2年度稲沢市一般会計補正予算（第8号）	全員賛成	可決
議案第 24号	令和2年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	可決
議案第 25号	令和2年度稲沢市病院事業会計補正予算（第3号）	全員賛成	可決
議案第 26号	令和2年度稲沢市水道事業会計補正予算（第3号）	全員賛成	可決

(報告)

報告第 1号	専決処分の報告について
--------	-------------

(同意案)

同意案第 1号	副市長の選任について	全員賛成	同意
同意案第 2号	人権擁護委員の推薦について	全員賛成	同意
同意案第 3号	監査委員の選任について	全員賛成	同意
同意案第 4号	公平委員会委員の選任について	全員賛成	同意
同意案第 5号	監査委員の選任について	全員賛成	同意

(発議案)

発議案第 1号	稲沢市議会会議規則の一部を改正する規則について	全員賛成	可決
---------	-------------------------	------	----

稲沢市議会だより

3月定例会賛否表

議員名 議案番号	杉山太希	平野賀洋子	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	大津丈敏	加藤孝秋	岡野次男	富田和音	志智央	木全信明	東野靖道	吉川隆之	木村喜信	網倉信太郎	長屋宗正	服部猛	出口勝実	六鹿順二	朽本敏子	平床健一	星野俊次	曾我部博隆	野々部尚昭
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※ 全員が賛成した議案は記載を省略しています。
 ※ 木村喜信議員は議長のため採決には加わりません。
 (○は賛成、●は反対)

同意案

次の方々の選任、推薦に同意しました。

○副市長

清水 澄 氏
 (中之庄町・新任)

○人権擁護委員

遠藤 秀樹 氏
 (国府宮三丁目・新任)

佐藤 朋恵 氏
 (祖父江町山崎・再任)

大野 芳樹 氏
 (祖父江町三丸淵・新任)

○監査委員

樋口 光男 氏
 (北市場本町・新任)

東野 靖道 氏(議会選出)
 (下津片町・新任)

○公平委員会委員

大宮 隆志 氏
 (名古屋市・新任)

2月臨時会開催

2月臨時会を、2月8日に開催しました。

一般会計補正予算

一般会計補正予算(第7号)は、7億8000万円の増額となり、歳出の主な内容は次のとおりです。

○衛生費

新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費

7億8000万円

※万円未満切り捨て



令和2年度 政務活動費収支報告

(単位:円)

	創生会	市民クラブ	公明党 稲沢市議団	曾我部博隆	野々部尚昭	平床健一
交付額	3,840,000	1,200,000	480,000	240,000	240,000	80,000
研修費			30,000			
広報費	411,004	434,645		229,373		
資料作成費				1,027		
資料購入費		77,308	48,950	9,600	31,878	
合計	411,004	511,953	78,950	240,000	31,878	0
残(返還)額	3,428,996	688,047	401,050	0	208,122	80,000

※ 所属議員数に月額2万円を交付しています
※ 残余分については、市へ返還しています

編集／広報広聴委員会

発行／稲沢市議会

発議案

次の議案について、審議した結果、全会一致で可決しました。

発議案第1号 稲沢市議会会議規則の一部を改正する規則について

概要 女性をはじめ多様な人材の市議会参画促進のため、議会の欠席事由について、出産に関する期間、育児、介護等を明文化するよう改正します。

また、デジタル化政策の一環として、押印のみ求めている請願書の提出要件を「署名又は記名押印」に改正します。

議会報告会を中止

例年5月に議会報告会を実施してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、中止させていただきました。

今後につきましては、手法等を含め、検討させていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

表彰

愛知県市議会議長会定期総会(書面会議)において、木村喜信議長、大津丈敏副議長、六鹿順二前議長、木全信明前議長、遠藤明元副議長に感謝状が贈呈されました。



遠藤明
元副議長

木全信明
前副議長

六鹿順二
前議長

大津丈敏
副議長

木村喜信
議長

6月定例会開催予定

本会議は、市役所3階の議場で午前9時30分から始まり、次回開催の6月定例会会期日程(案)をご案内します。

- 6月
- 14日(月) 開会
 - 17日(木) 質疑・一般質問
 - 18日(金) 質疑・一般質問
 - 21日(月) 質疑・一般質問
 - 22日(火) 質疑・一般質問予備日
 - 23日(水) 総務委員会
 - 24日(木) 文教厚生委員会
 - 25日(金) 経済建設委員会
 - 28日(月) 委員会予備日
 - 29日(火) 議会運営委員会
 - 30日(水) 閉会

※日程は変更する場合があります。また、傍聴については、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、自粛をお願いすることがあります。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局

電話(直通)
(0587)
32-1459

FAX
(0587)
32-1124

